



HRD共同調査とは、HIV感染症治療薬の
市販後における使用実態、安全性に関する調査です。

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査 20 年次報告書 追補版

(1997 年 8 月 ~ 2017 年 3 月)

医療関係者各位

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の使用実態、有効性及び安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、1997 年調査開始時より年度毎に調査結果の概要を別途、冊子としてまとめてきておりますが、今回、直近の調査期間である 20 年次(2016 年 4 月 1 日 ~ 2017 年 3 月 31 日)における使用実態のデータを加え、本調査結果の概要について、簡潔にまとめた追補版の小冊子を作成いたしました。本小冊子が診療のご参考になれば幸いです。

なお、本小冊子は、HIV 診療に携わる専門医の先生方のご意見を参考に作成致しました。

2017 年 11 月

HRD共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

日本たばこ産業株式会社

ファイザー株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

シミック PMS 株式会社(CRO: 調査受託会社)

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

20 年次報告書 追補版

(1997 年 8 月 ～ 2017 年 3 月)

目次

調査対象薬剤	1
<調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移>	3
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
・ 治療開始後の CD4 数の推移 (2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ 治療開始後の CD4 数の推移 (2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
<調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移>	4
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移 (2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移 (2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
<調査対象全症例における治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移>	5
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移 (2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移 (2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
<調査対象全症例における治療開始時期別生存率>	6
・ HRD 共同調査生存率 全症例のカプランマイヤー法による生存率	
<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)>	7
・ HRD 共同調査生存率 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)>	8
・ HRD 共同調査生存率 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ HRD 共同調査生存率 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)>	9
・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)	

治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

<調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)>.....10

- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率(AIDS 指標疾患による死亡)
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)

<調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率>.....11

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

<調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率>.....12

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)

<調査対象全症例における治療開始時期別生存率>.....13

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

<調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時の CD4 数及び HIV-RNA コピー数>.....14

- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の CD4 数
- ・ 併用療法薬剤変更時の CD4 数
- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の HIV-RNA コピー数
- ・ 併用療法薬剤変更時の HIV-RNA コピー数

<2014 年度から 2016 年度に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ)>.....15

調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している会社薬剤

(2017 年 3 月現在再審査期間中の市販薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
プリズスタ錠 300mg	ダールナビル (DRV)	2007 年 11 月 ~ 2017 年 11 月
プリズスタナイブ錠 400mg	ダールナビル (DRV)	2009 年 8 月 ~ 2017 年 11 月
アイセントレス錠 400mg	ラルテグラビル (RAL)	2008 年 6 月 ~ 2018 年 6 月
ミコフテインカプセル 150mg	リファブチン	2008 年 7 月 ~ 2018 年 7 月
インテレンス錠 100mg	エトラビリン (ETR)	2008 年 12 月 ~ 2018 年 12 月
シーエルセントリ錠 150mg	マラビロク (MVC)	2008 年 12 月 ~ 2018 年 12 月
サムチレル内用懸濁液 15%	アトバコン	2012 年 1 月 ~ 2020 年 1 月
エシユラント錠 25mg	リルピビリン (RPV)	2012 年 5 月 ~ 2022 年 5 月
スタリビルド配合錠	エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン /テノホビル シソフ°ロキシルフマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TDF)	2013 年 3 月 ~ 2023 年 3 月
プリズスタナイブ錠 800mg	ダールナビル (DRV)	2013 年 7 月 ~ 2017 年 11 月
ドレク錠 50mg	ドルテグラビル (DTG)	2014 年 3 月 ~ 2024 年 3 月
コムプレラ配合錠	リルピビリン/テノホビル・シソフ°ロキシルフマル酸塩 /エムトリシタビン (RPV/TDF/FTC)	2014 年 11 月 ~ 2022 年 5 月
プリズスタ錠 600mg	ダールナビル (DRV)	2014 年 12 月 ~ 2017 年 11 月
トリメク配合錠	ドルテグラビル/アバカビル流酸塩/ラミブジン (DTG/ABC/3TC)	2015 年 3 月 ~ 2024 年 3 月
ゲンホイヤ配合錠	エルビテグラビル/コビスタット/エムトリシタビン/ テノホビル アラフェナミド°フマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TAF)	2016 年 6 月 ~ 2026 年 6 月
プレジコビックス配合錠	ダールナビル エタノール付加物/コビスタット (DRV/COBI)	2016 年 11 月 ~ 2023 年 3 月
テシコビ配合錠 LT	エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミド°フマル酸塩	2016 年 12 月 ~ 2026 年 12 月
テシコビ配合錠 HT	(FTC/TAF)	

(参考:2017年3月現在再審査期間が終了している薬剤)

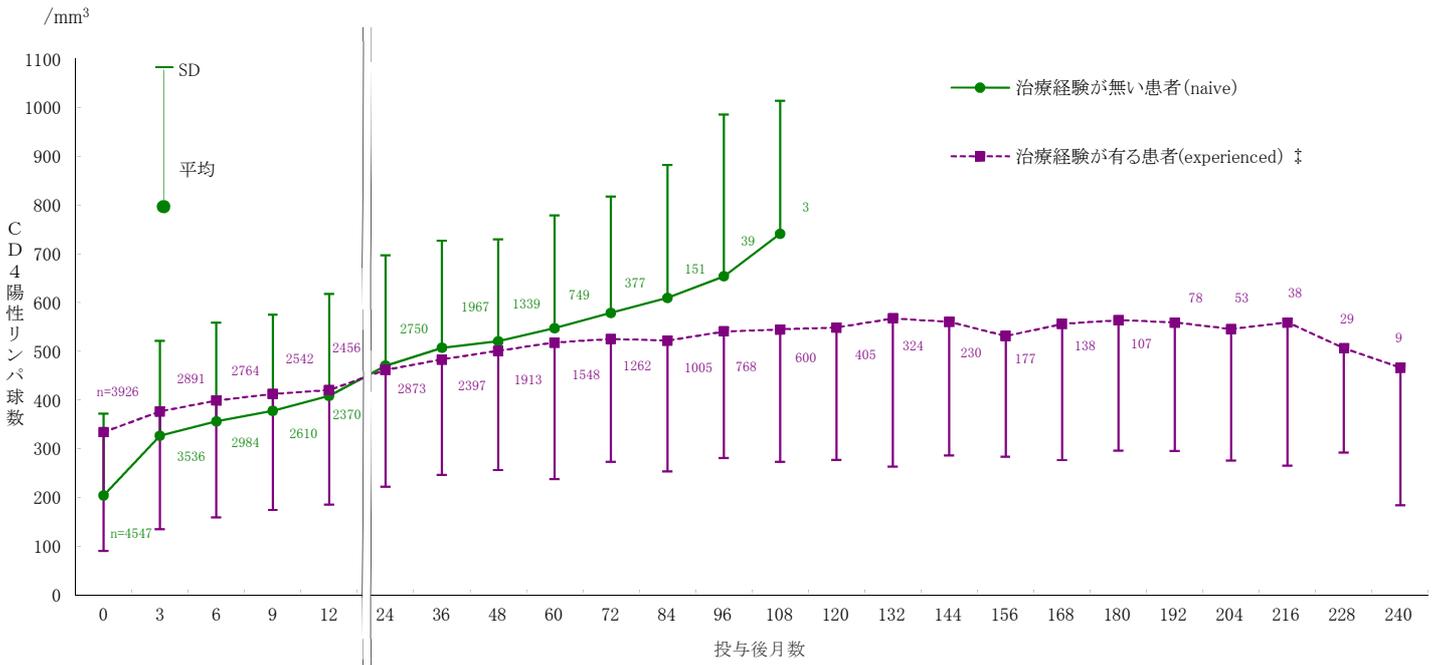
医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エビテル錠 150, 300	ラミブジン (3TC)	1997年2月 ~ 2007年2月
コンビテル配合錠	ジドブジン (AZT)・ラミブジン (3TC)	1999年6月 ~ 2007年2月
クリキハソカプセル	インジナビル硫酸塩 (IDV)	1997年3月 ~ 2007年3月
点滴静注用ホスカルビル	ホスカルネットナトリウム水和物	1997年3月 ~ 2007年3月
ゼリットカプセル	サニルブジン (d4T)	1997年7月 ~ 2007年7月
テノシカプセル ^{※1}	ガンシクロビル	1997年7月 ~ 2007年7月
インビラーゼカプセル	サキナビルメシル酸塩 (SQV-HGC)	1997年9月 ~ 2007年9月
ノービア内用液・ソフトカプセル ^{※1}	リトナビル (RTV)	1997年11月 ~ 2007年11月
ビラセプト錠 250mg	ネルフィナビルメシル酸塩 (NFV)	1998年3月 ~ 2008年3月
クラリス錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998年9月 ~ 2008年9月
クラリット錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998年9月 ~ 2008年9月
ビラミューン錠	ネビラピン (NVP)	1998年11月 ~ 2008年11月
ザイジン錠	アバカビル硫酸塩 (ABC)	1999年9月 ~ 2009年9月
ストックリン錠 200mg, 600mg	エファビレンツ (EFV)	1999年9月 ~ 2009年9月
カレラ配合錠・配合内用液	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2000年12月 ~ 2010年12月
エゾグム配合錠	ラミブジン (3TC)・アバカビル硫酸塩 (ABC)	2004年12月 ~ 2010年12月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001年12月 ~ 2011年12月
カレラ配合錠	ロピナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2011年4月 ~ 2013年3月 ^{※2}
レイアタツカプセル 150mg, 200mg	アタザナビル硫酸塩 (ATV)	2003年12月 ~ 2013年12月
ビリアード錠 300mg	テノホビルジソプロキシルマル酸塩 (TDF)	2004年3月 ~ 2014年3月
バリキサ錠 450mg	バルガンシクロビル塩酸塩	2004年11月 ~ 2014年11月
レクシヴァ錠 700	ホスアンプレナビルカルシウム水和物 (fAPV)	2004年12月 ~ 2014年12月
エムトリバカプセル 200mg	エムトリシタビン (FTC)	2005年3月 ~ 2015年3月
ツルバダ配合錠	エムトリシタビン・テノホビルジソプロキシルマル酸塩 (FTC/TDF)	2005年3月 ~ 2015年3月

※1:テノシカプセル・ノービアソフトカプセルは現在、販売されておられません。

※2:カレラ配合錠の用法追加(1日1回)は再審査対象ではないため調査期間を示しております。

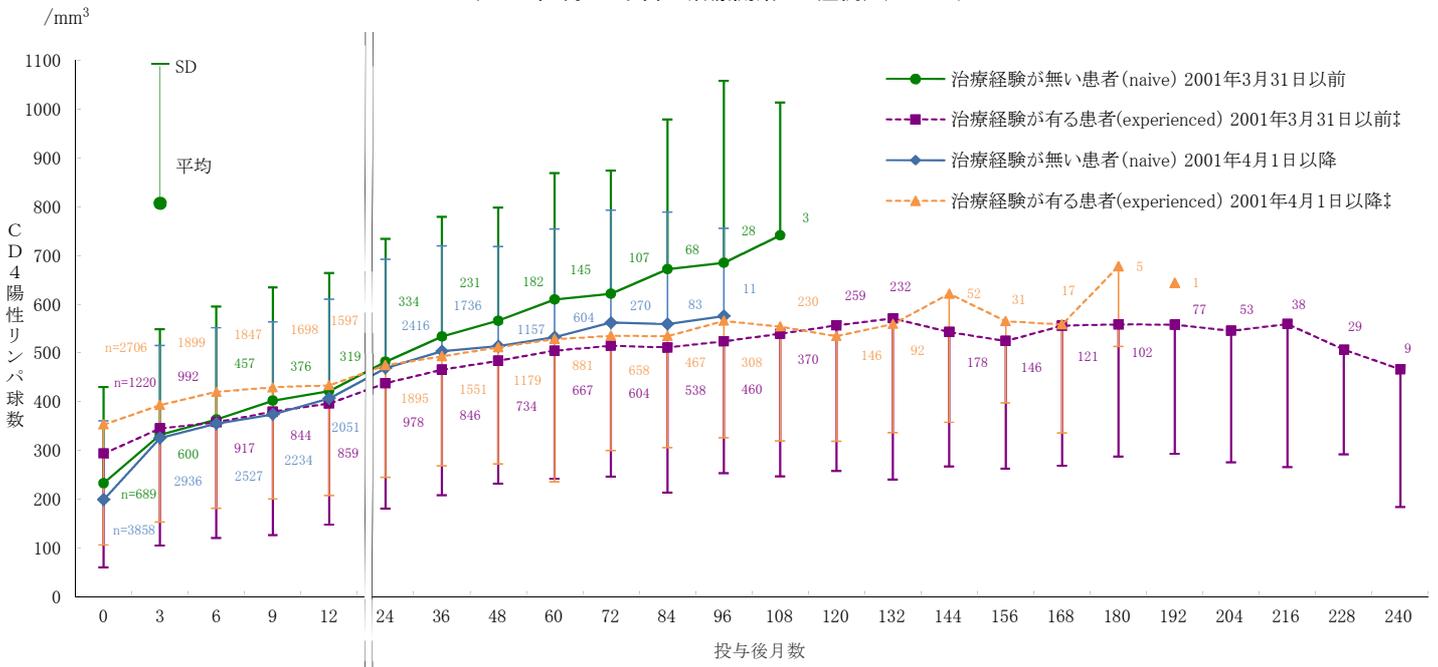
＜調査対象全症例における治療開始後のCD4数の推移＞

治療開始後のCD4数の推移[†]
(調査期間: 1997年8月から2017年3月) (n=8473)



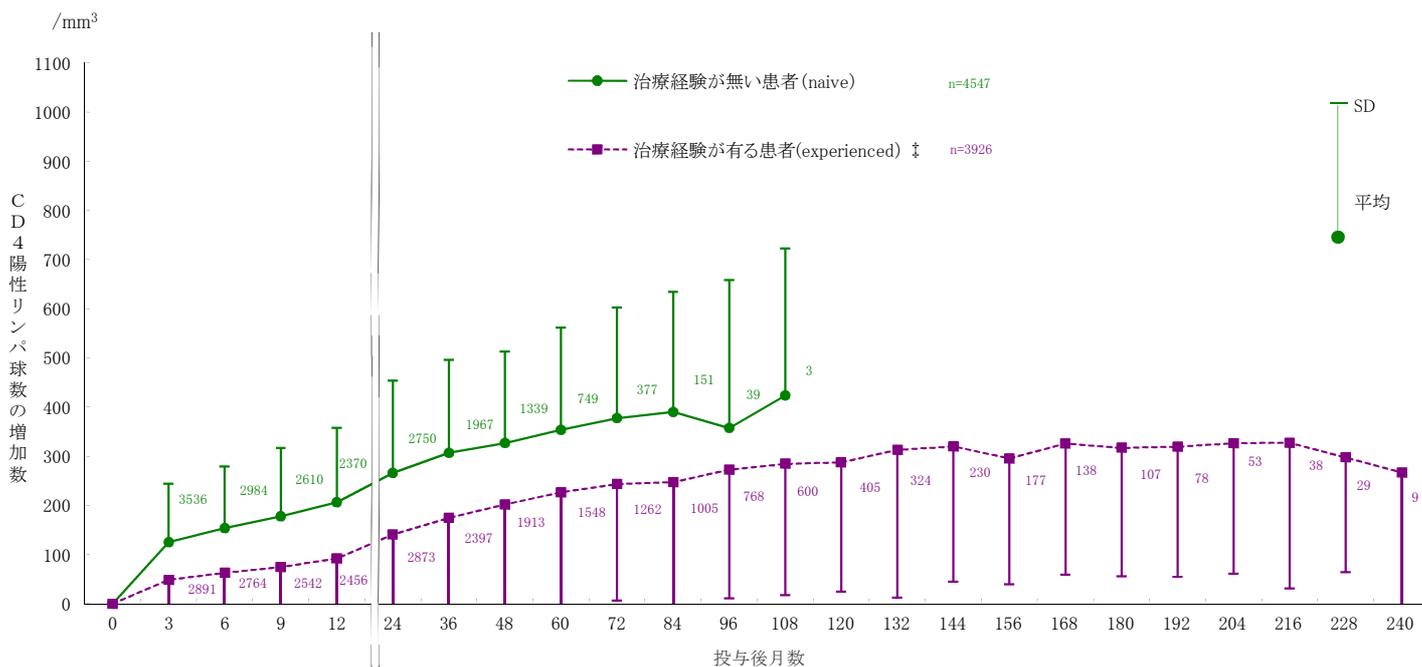
† 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

治療開始後のCD4数の推移[†]
(2001年3月31日以前に治療開始した症例) (n=1909)
(2001年4月1日以降に治療開始した症例) (n=6564)



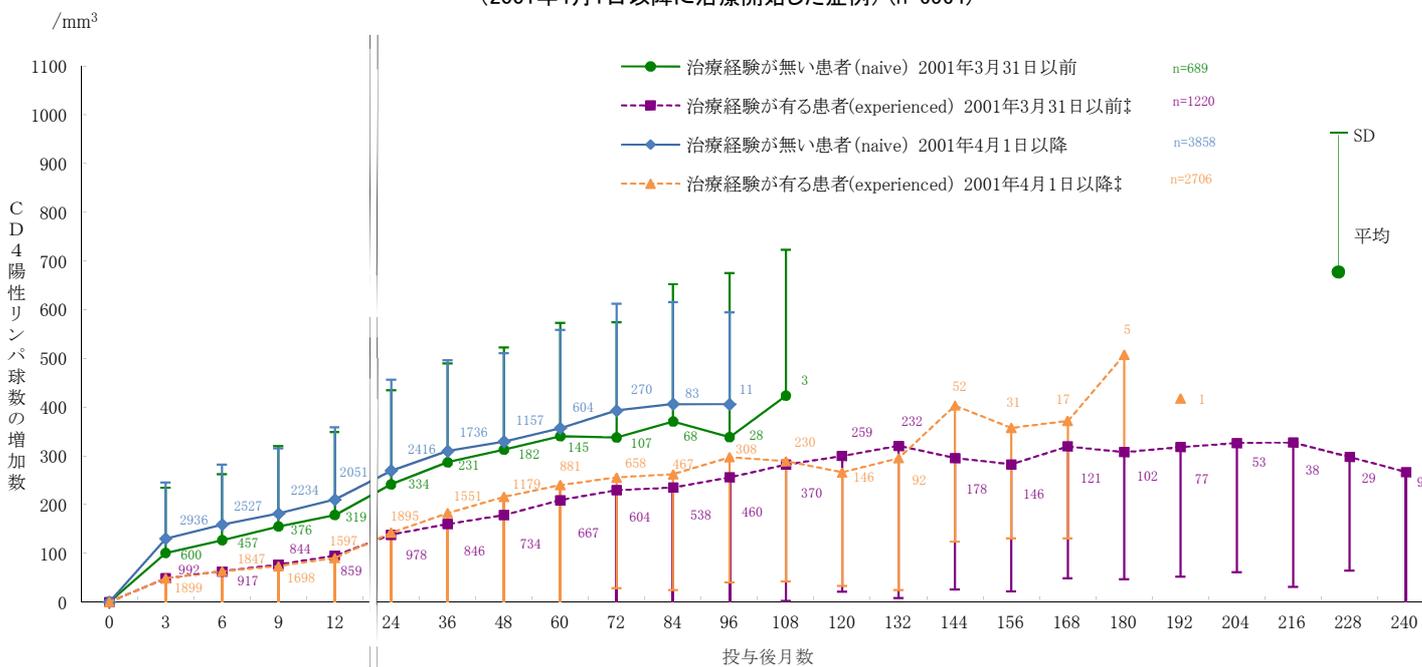
† 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

治療開始後のCD4増加数の推移[†] (調査期間: 1997年8月から2017年3月) (n=8473)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。
[†] 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

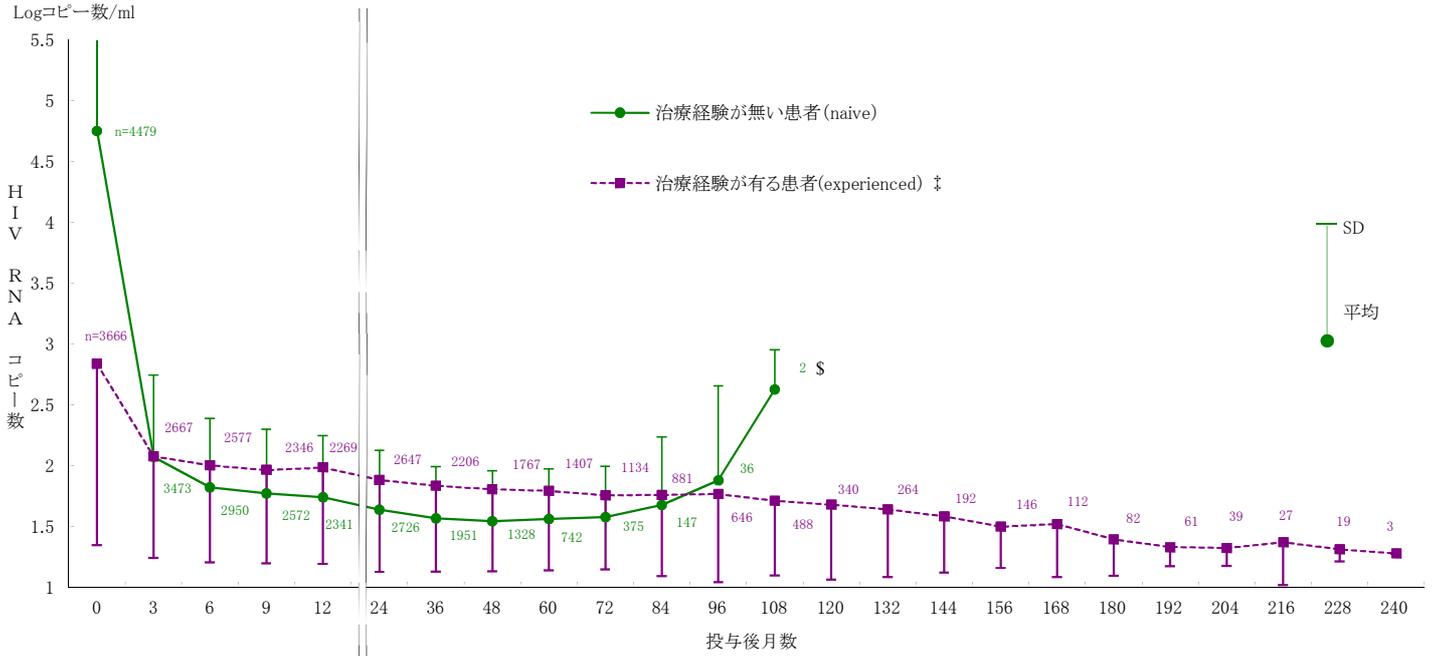
治療開始後のCD4増加数の推移[†] (2001年3月31日以前に治療開始した症例) (n=1909) (2001年4月1日以降に治療開始した症例) (n=6564)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。
[†] 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

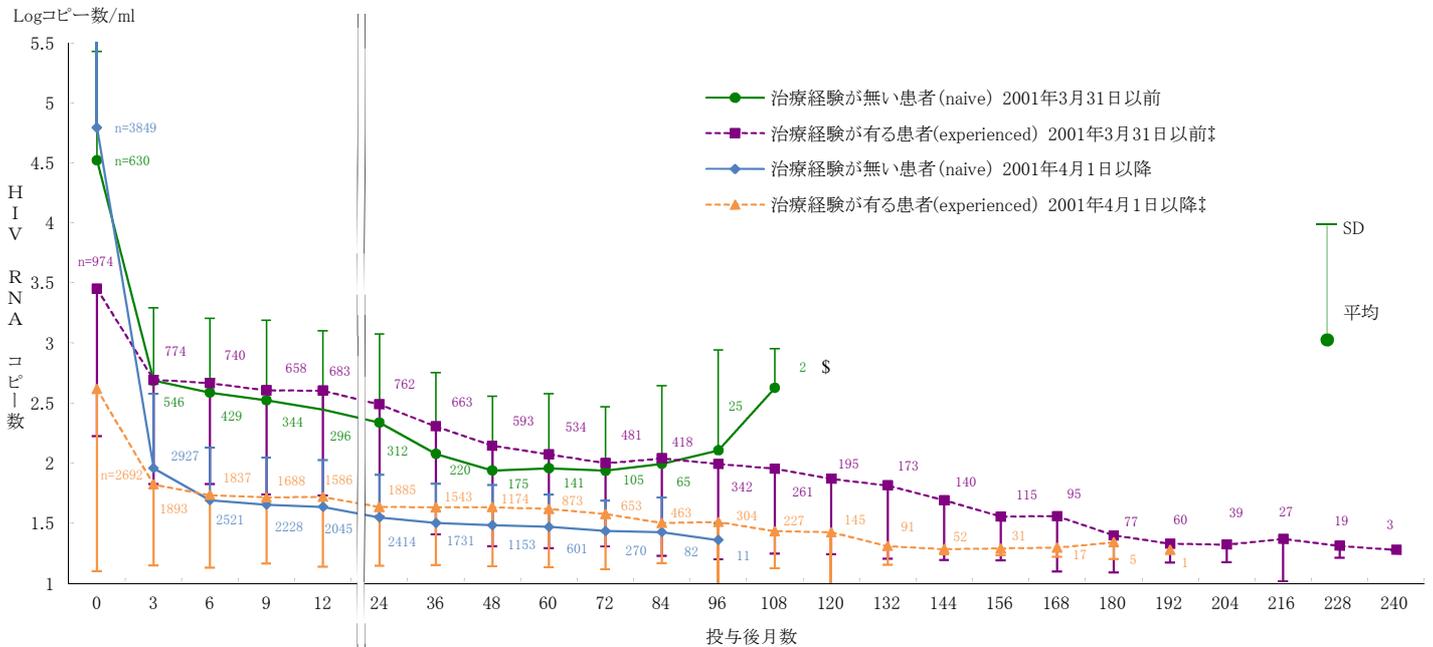
＜調査対象全症例における治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移＞

治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移[†]
(調査期間: 1997年8月から2017年3月) (n=8145)



† HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。
 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
 ‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。
 § Naïve症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。
 HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

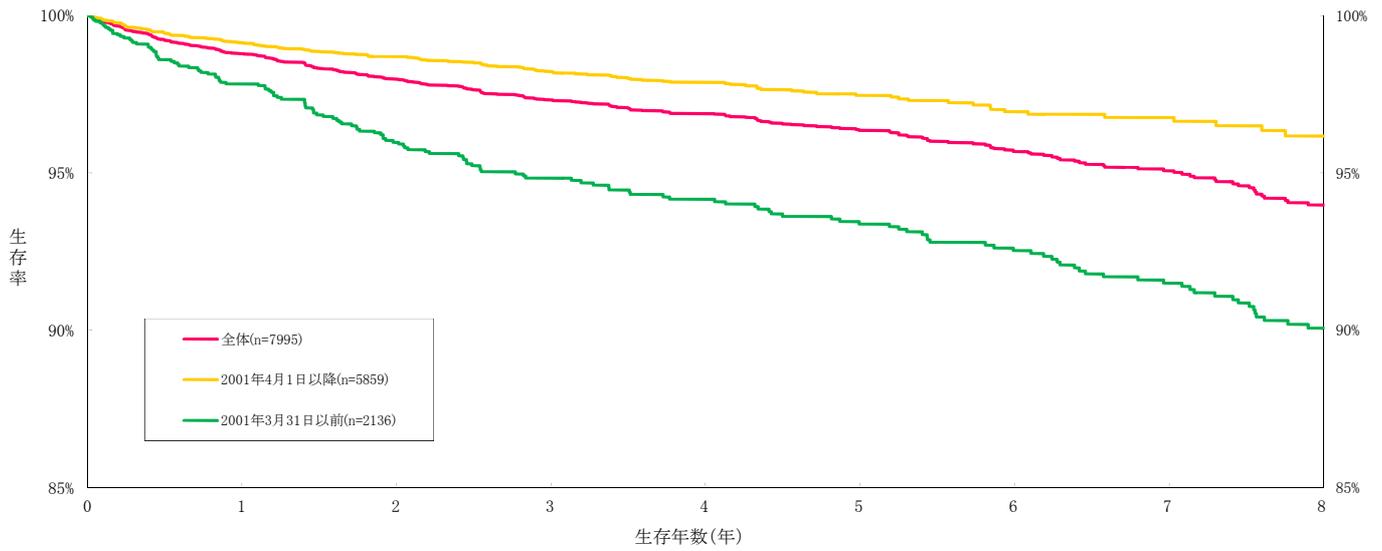
治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移[†]
(2001年3月31日以前に治療開始した症例) (n=1604)
(2001年4月1日以降に治療開始した症例) (n=6541)



† HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。
 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
 ‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。
 § Naïve症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。
 HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

<調査対象全症例における治療開始時期別生存率>

HRD共同調査生存率
全症例のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間:1997年8月から2017年3月)

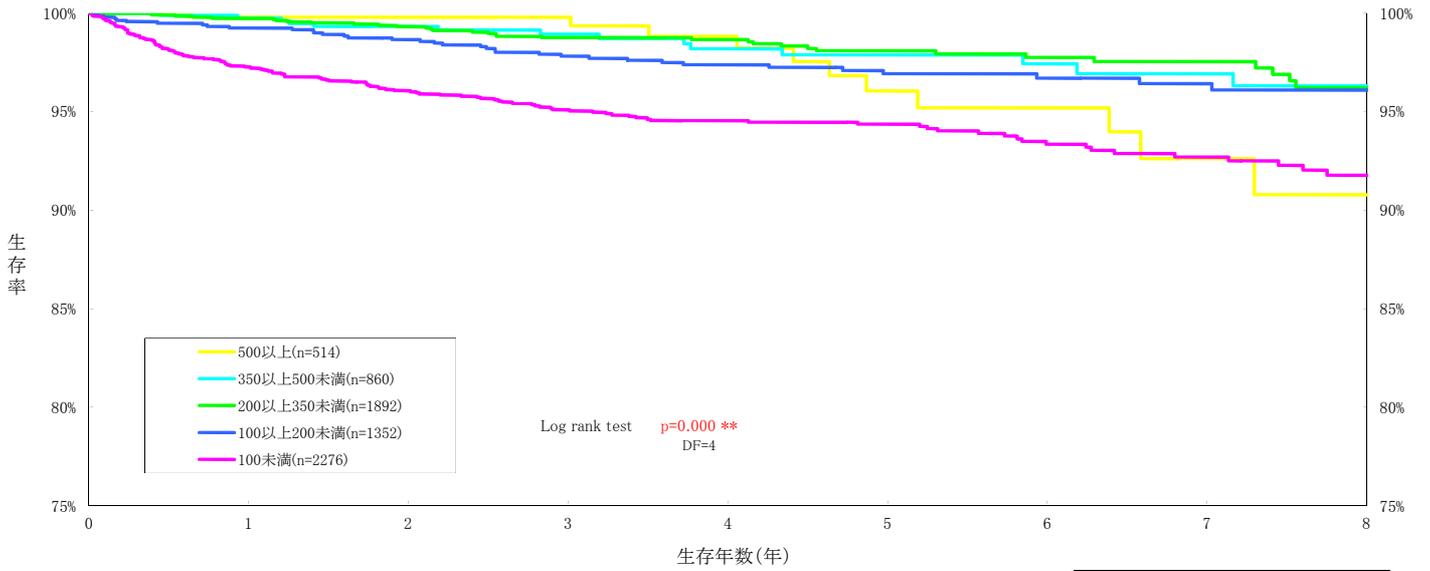


治療開始時期	生存年数											
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	
全体	7995	7064	6156	5049	4049	3028	2302	1702	1258	949	643	
2001年3月31日以前	2136	1842	1600	1341	1229	1155	1042	907	742	572	403	
2001年4月1日以降	5859	5222	4556	3708	2820	1873	1260	795	516	377	240	
治療開始時期別の生存者数	生存年数											
	治療開始時期	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	
	全体	496	346	282	217	171	119	78	59	39	10	
	2001年3月31日以前	341	274	228	193	163	119	78	59	39	10	
2001年4月1日以降	155	72	54	24	8	-	-	-	-	-		

上記の表は9年以降の生存者数も表記した。

<調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(全死亡)>

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間: 1997年8月から2017年3月)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。

本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

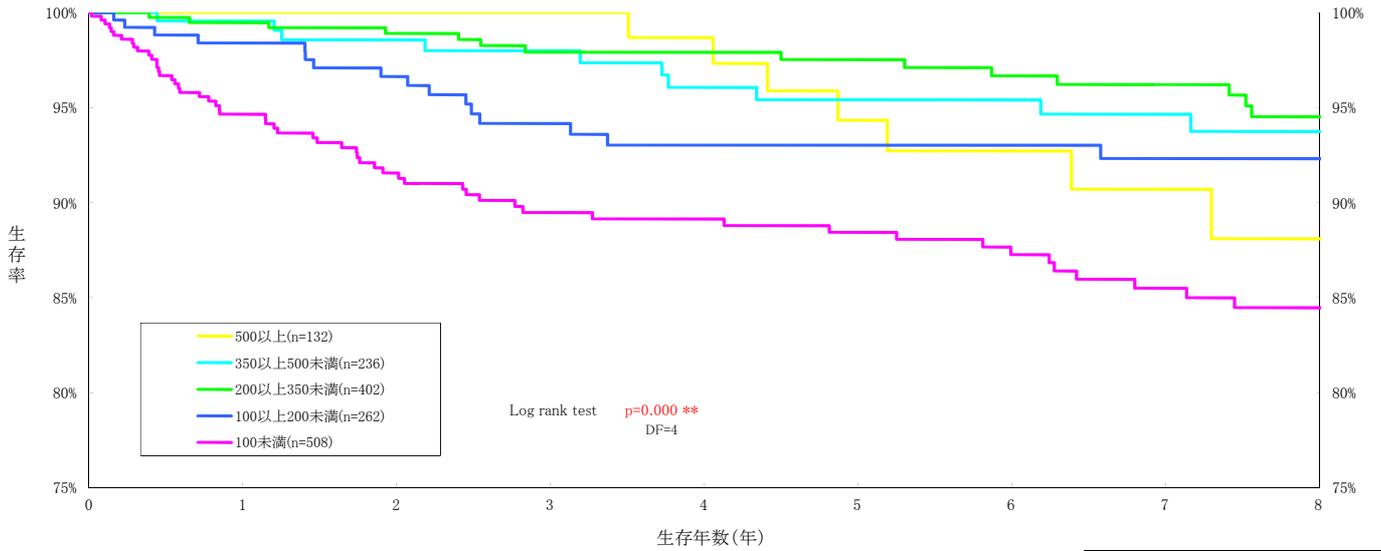
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.471
350未満 vs 350以上	p=0.014 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	治療開始時 CD4数	生存年数										
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)
治療開始時 CD4数別の 生存者数	<100	2276	1976	1711	1442	1189	891	652	474	326	236	167
	<200	1352	1231	1120	955	784	571	423	307	223	168	113
	<350	1892	1709	1527	1247	968	684	516	347	241	184	125
	<500	860	726	596	449	344	260	205	161	130	88	64
	500 ≤	514	435	331	227	163	115	90	54	41	28	20
			生存年数									
		(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	
	<100	123	86	73	52	36	22	11	9	6	0	
	<200	85	56	47	37	31	21	16	12	7	5	
	<350	95	69	54	43	36	27	22	14	8	2	
	<500	52	34	25	22	17	9	6	4	3	0	
	500 ≤	13	6	6	6	5	3	2	2	1	1	

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)

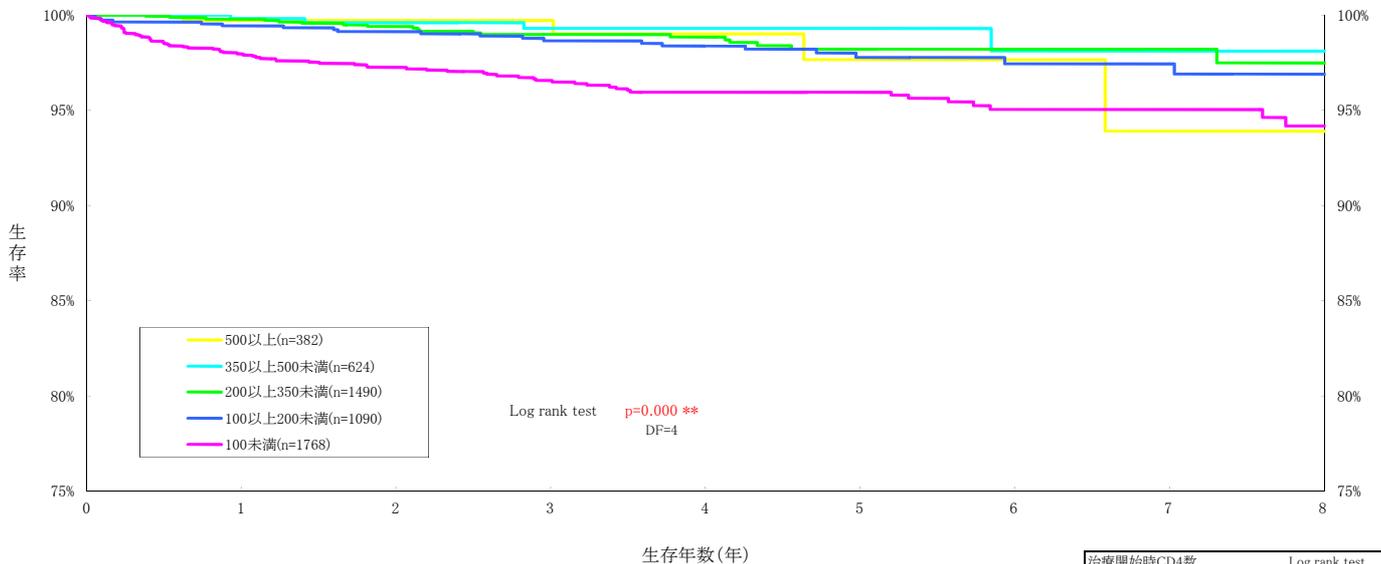


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
治療開始時のCD4数350前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.644
350未満 vs 350以上	p=0.072
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時CD4数別の生存者数	治療開始時CD4数	生存年数																				
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)
	<100	508	396	331	277	258	248	212	176	144	103	81	68	59	51	40	32	22	11	9	6	0
	<200	262	236	207	169	157	145	135	126	101	84	63	56	44	37	33	31	21	16	12	7	5
	<350	402	363	325	277	255	241	224	190	147	114	77	65	54	44	39	35	27	22	14	8	2
	<500	236	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	15	9	6	4	3	0
	500≦	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	6	5	3	2	2	1	1

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



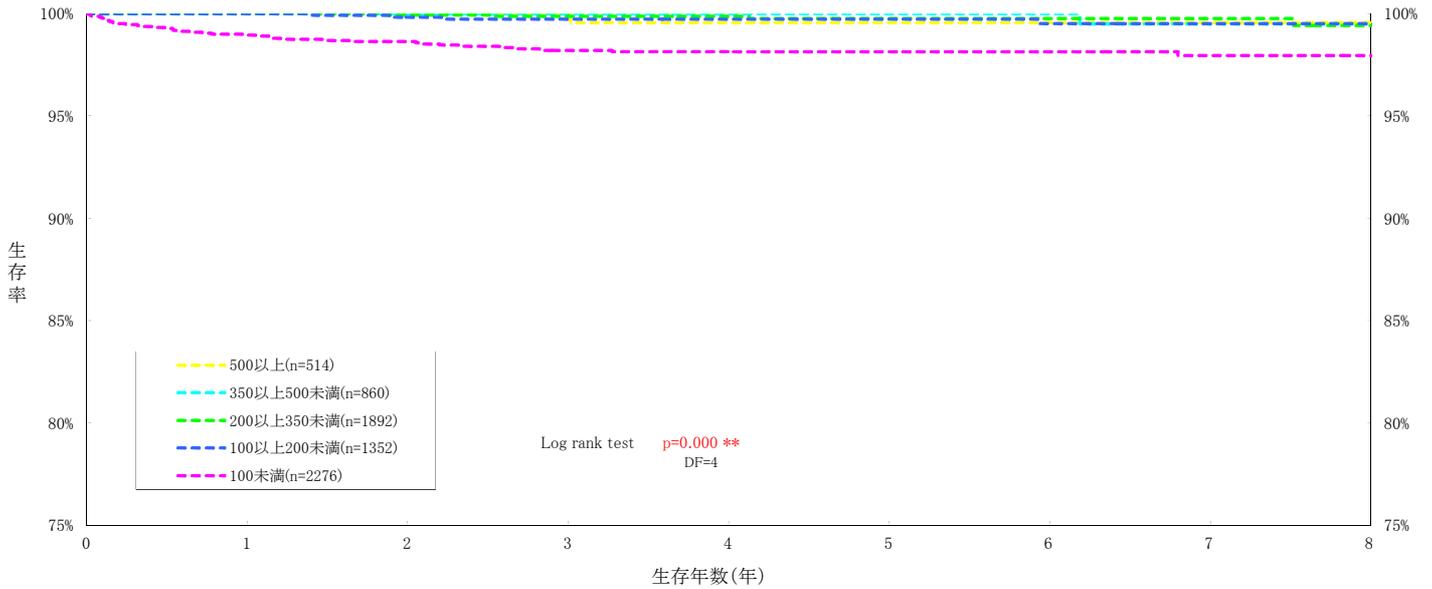
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.306
350未満 vs 350以上	p=0.009 **
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時CD4数別の生存者数	治療開始時CD4数	生存年数																				
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)				
	<100	1768	1580	1380	1165	931	643	440	298	182	133	86	55	27	22	12	4	0	0	0	0	0
	<200	1090	995	913	786	627	426	288	181	122	84	50	29	12	10	4	0	0	0	0	0	0
	<350	1490	1346	1202	970	713	443	292	157	94	70	48	30	15	10	4	1	0	0	0	0	0
	<500	624	518	419	296	198	122	77	52	37	26	16	12	7	3	2	2	0	0	0	0	0
	500≦	382	323	234	146	91	55	38	17	12	9	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(AIDS指標疾患による死亡)>

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (調査期間:1997年8月から2017年3月)

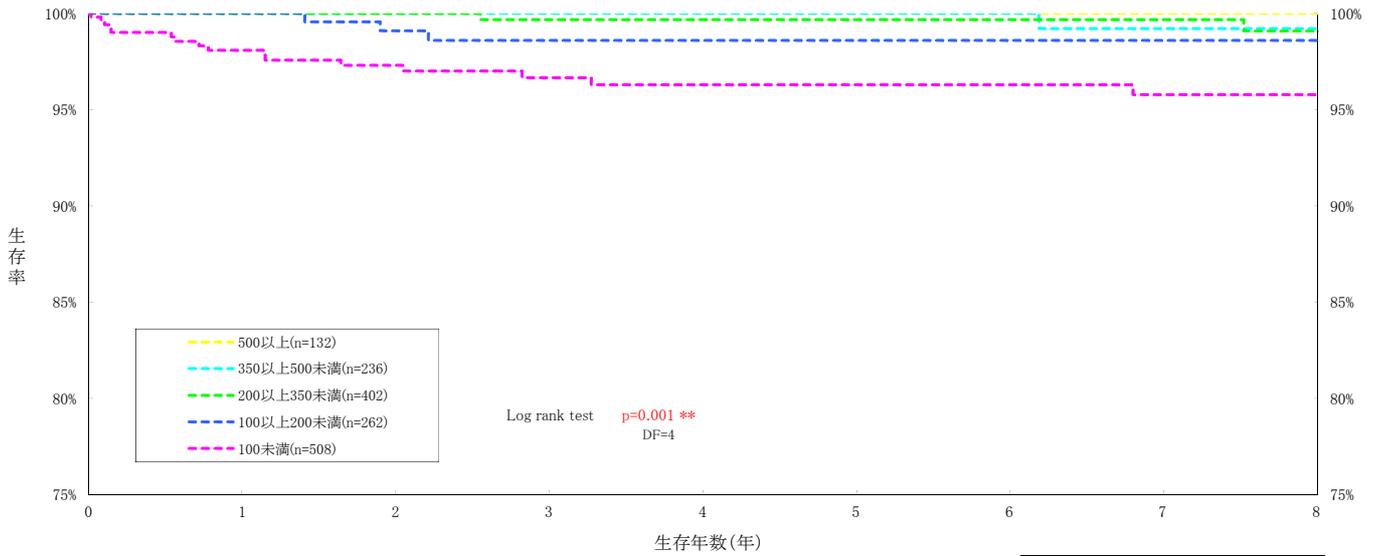


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.206
350未満 vs 350以上	p=0.011 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	0年	生存年数									
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)
<100	2276	1976	1711	1442	1189	891	652	474	326	236	167
<200	1352	1231	1120	955	784	571	423	307	223	168	113
<350	1892	1709	1527	1247	968	684	516	347	241	184	125
<500	860	726	596	449	344	260	205	161	130	88	64
500≦	514	435	331	227	163	115	90	54	41	28	20
治療開始時 CD4数別の 生存者数	生存年数										
	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	
<100	123	86	73	52	36	22	11	9	6	0	
<200	85	56	47	37	31	21	16	12	7	5	
<350	95	69	54	43	36	27	22	14	8	2	
<500	52	34	25	22	17	9	6	4	3	0	
500≦	13	6	6	6	5	3	2	2	1	1	

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2001年3月31日以前に治療開始した症例)

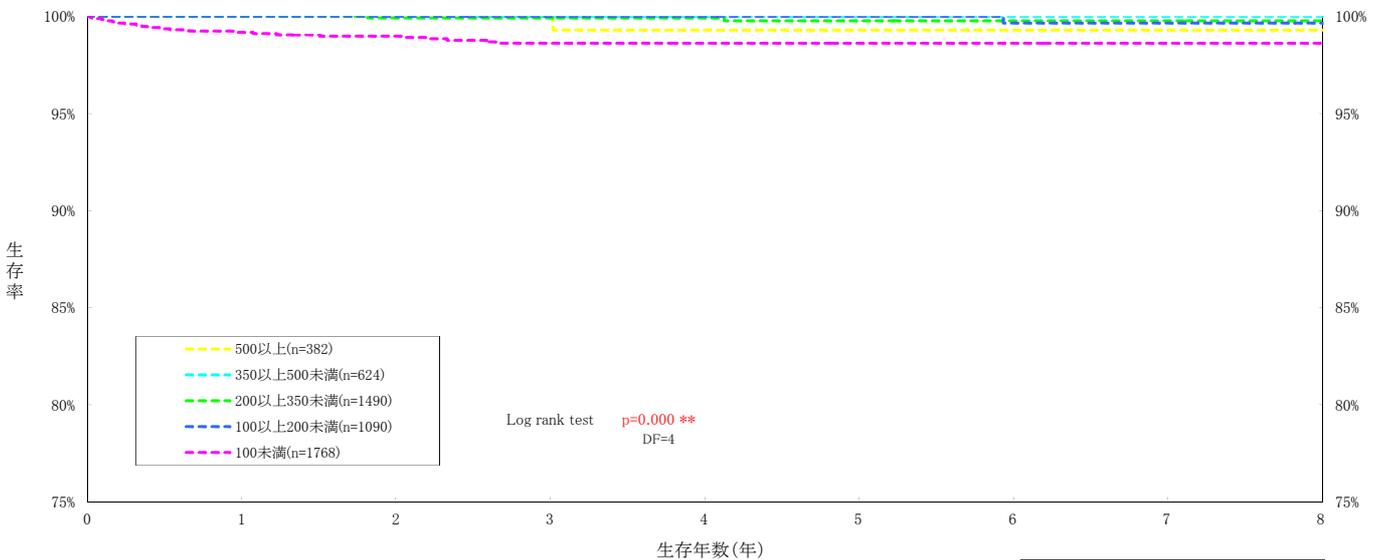


治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.160
350未満 vs 350以上	p=0.032 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	生存年数																				
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)
<100	508	396	331	277	258	248	212	176	144	103	81	68	59	51	40	32	22	11	9	6	0
<200	262	236	207	169	157	145	135	126	101	84	63	56	44	37	33	31	21	16	12	7	5
<350	402	363	325	277	255	241	224	190	147	114	77	65	54	44	39	35	27	22	14	8	2
<500	236	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	15	9	6	4	3	0
500≤	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	6	5	3	2	2	1	1

HRD共同調査生存率(AIDS指標疾患による死亡)
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2001年4月1日以降に治療開始した症例)



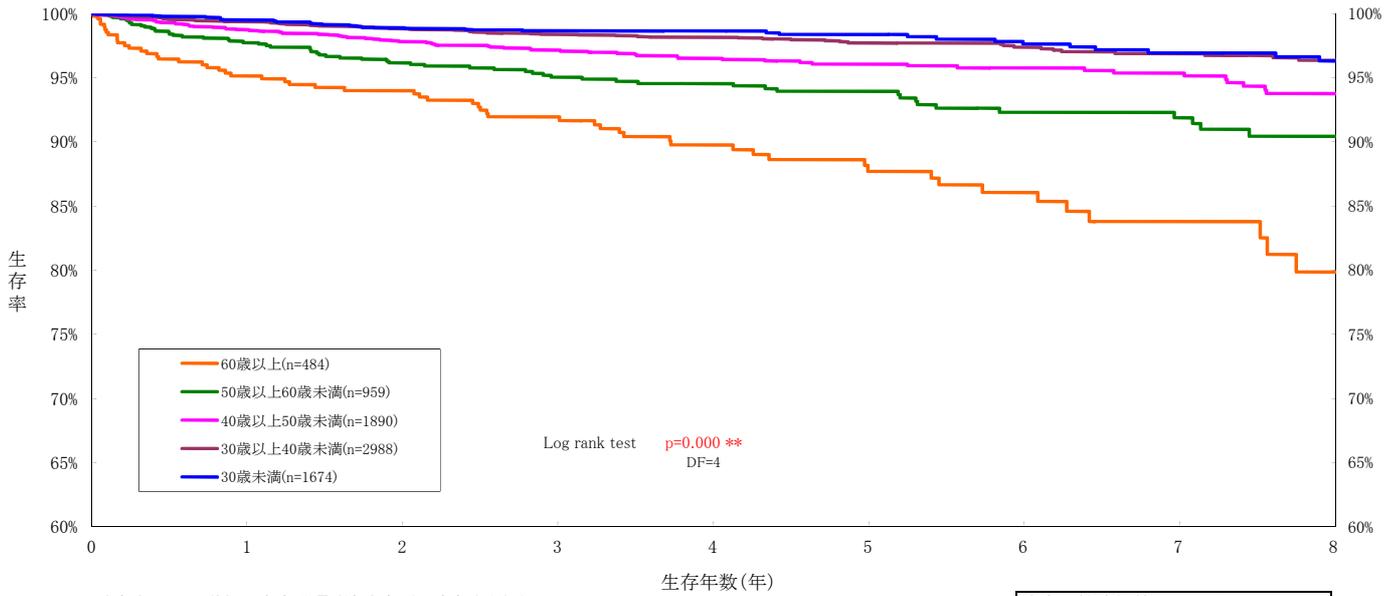
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
 下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.617
350未満 vs 350以上	p=0.077
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

治療開始時 CD4数	生存年数																
	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)
<100	1768	1580	1380	1165	931	643	440	298	182	133	86	55	27	22	12	4	0
<200	1090	995	913	786	627	426	288	181	122	84	50	29	12	10	4	0	0
<350	1490	1346	1202	970	713	443	292	157	94	70	48	30	15	10	4	1	0
<500	624	518	419	296	198	122	77	52	37	26	16	12	7	3	2	2	0
500≤	382	323	234	146	91	55	38	17	12	9	8	4	0	0	0	0	0

<調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率>

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間: 1997年8月から2017年3月)

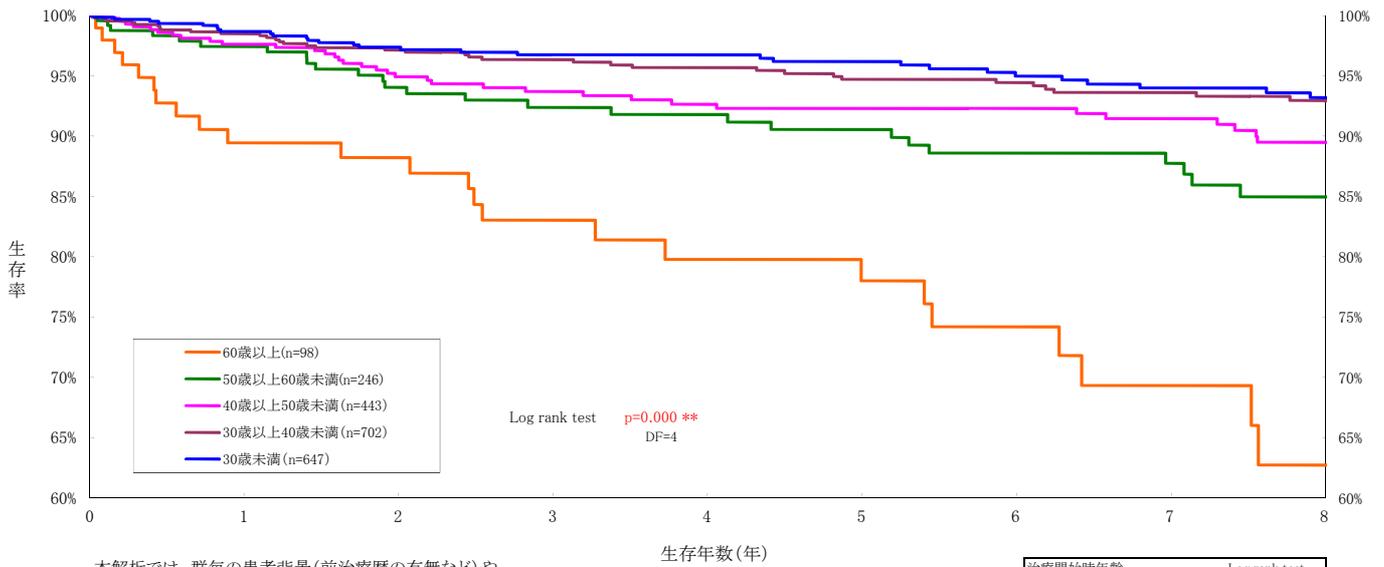


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **

	治療開始時年齢	生存年数											
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	
治療開始時年齢別の生存者数	<30	1674	1444	1235	982	784	605	481	376	297	230	157	
	<40	2988	2652	2324	1952	1570	1135	859	631	469	345	235	
	<50	1890	1687	1465	1182	935	722	559	404	296	225	147	
	<60	959	850	754	619	508	378	279	214	142	106	76	
	60≦	484	431	378	314	252	188	124	77	54	43	28	
			生存年数										
		治療開始時年齢	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)	(20年)	
		<30	125	87	74	62	50	35	27	24	19	7	
		<40	186	132	104	86	74	53	36	25	15	1	
		<50	111	72	55	39	27	17	10	7	4	1	
	<60	54	44	39	22	13	9	4	2	1	1		
	60≦	20	11	10	8	7	5	1	1	0	0		

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)

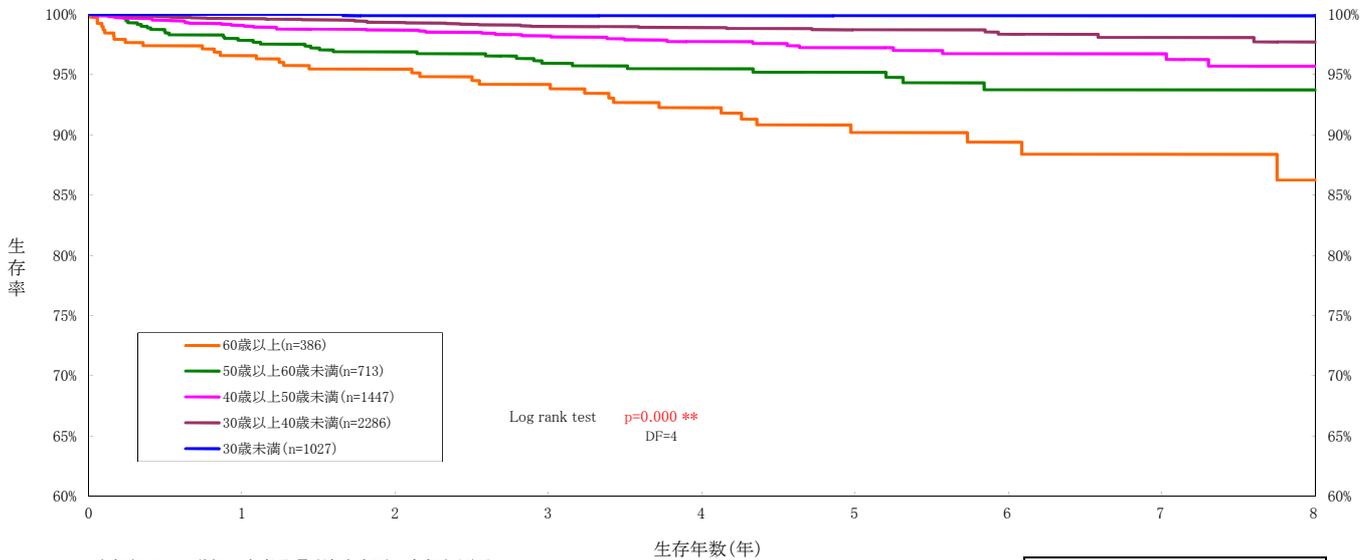


本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.005 **

治療開始時年齢別の生存者数	治療開始時年齢	生存年数																			
	年齢	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)
<30	647	563	490	405	362	333	304	273	230	177	121	100	75	64	58	49	35	27	24	19	7
<40	702	603	524	447	409	383	349	305	248	192	143	123	107	89	76	68	53	36	25	15	1
<50	443	388	333	279	261	254	232	202	168	128	85	72	54	41	33	27	17	10	7	4	1
<60	246	209	183	155	150	141	125	102	77	59	43	36	32	28	20	13	9	4	2	1	1
60 ≤	98	79	70	55	47	44	32	25	19	16	11	10	6	6	6	6	5	1	1	0	0

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



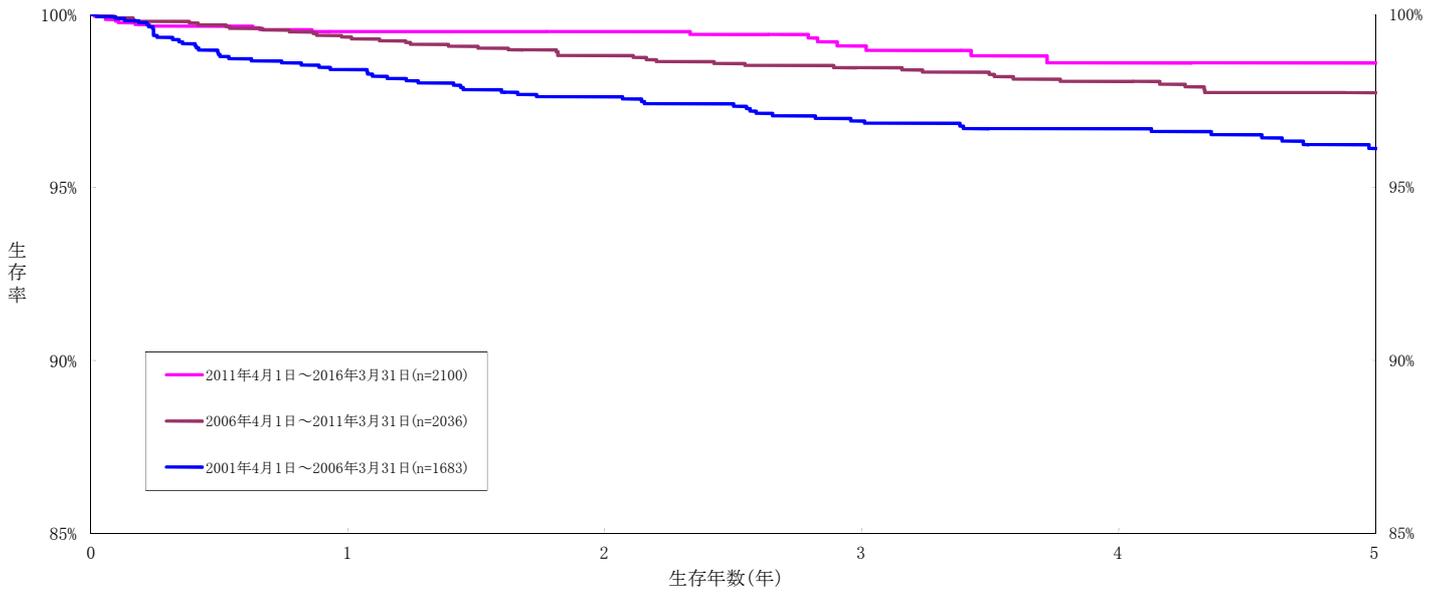
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。下記の表は9年以降の生存者数も表記した。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **

治療開始時年齢別の生存者数	治療開始時年齢	生存年数															
	年齢	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)
<30	1027	881	745	577	422	272	177	103	67	53	36	25	12	10	4	1	0
<40	2286	2049	1800	1505	1161	752	510	326	221	153	92	63	25	15	10	6	0
<50	1447	1299	1132	903	674	468	327	202	128	97	62	39	18	14	6	0	0
<60	713	641	571	464	358	237	154	112	65	47	33	18	12	11	2	0	0
60 ≤	386	352	308	259	205	144	92	52	35	27	17	10	5	4	2	1	0

＜調査対象全症例における治療開始時期別生存率＞

HRD共同調査生存率
 治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
 (2001年4月1日から2016年3月31日の期間を治療開始日で5年毎に区切った症例)

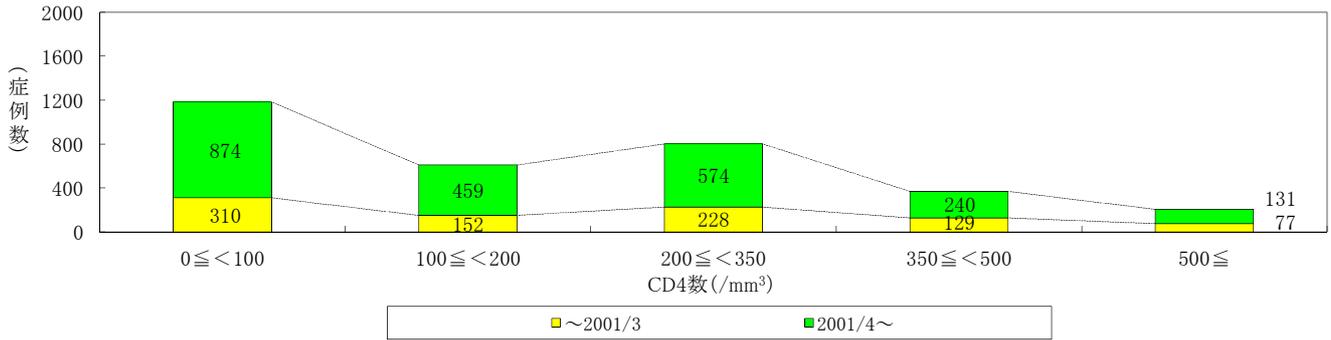


	治療開始時期	治療開始時 平均年齢	生存年数					
			0年	1年	2年	3年	4年	5年
治療開始時期 別の生存者数	2001年4月1日～2006年3月31日	39.44	1683	1535	1439	1347	1158	889
	2006年4月1日～2011年3月31日	39.94	2036	1920	1771	1578	1319	929
	2011年4月1日～2016年3月31日	38.95	2100	1767	1346	783	343	55

＜調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時のCD4数及びHIV-RNAコピー数＞

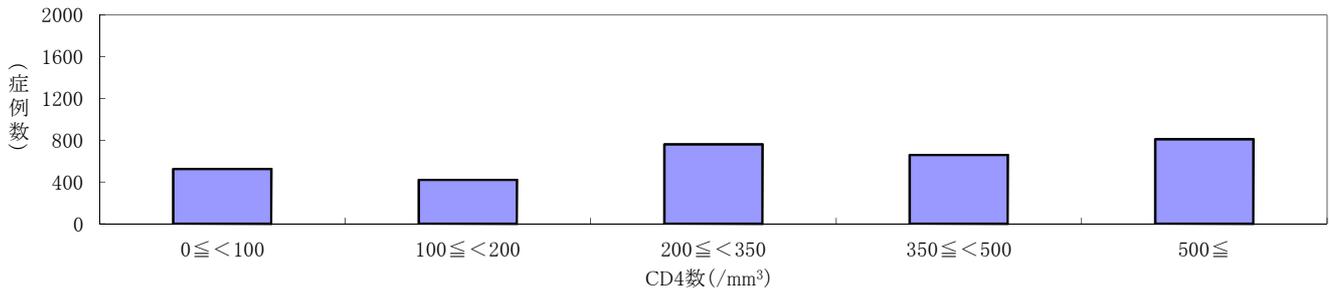
治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のCD4数

(調査期間: 1997年8月から2017年3月) (n=3174)



併用療法薬剤変更時のCD4数

(調査期間: 1997年8月から2017年3月) (n=3174)



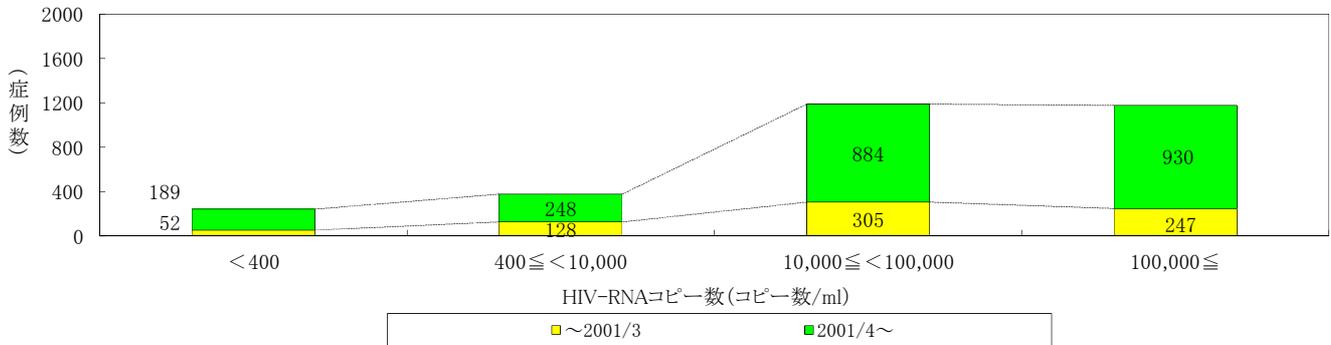
※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

- CD4数100未満で治療されている患者については、エイズ発症後に来院し治療を開始している等の要因が考えられた。治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
- 併用療法薬剤変更時のCD4数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

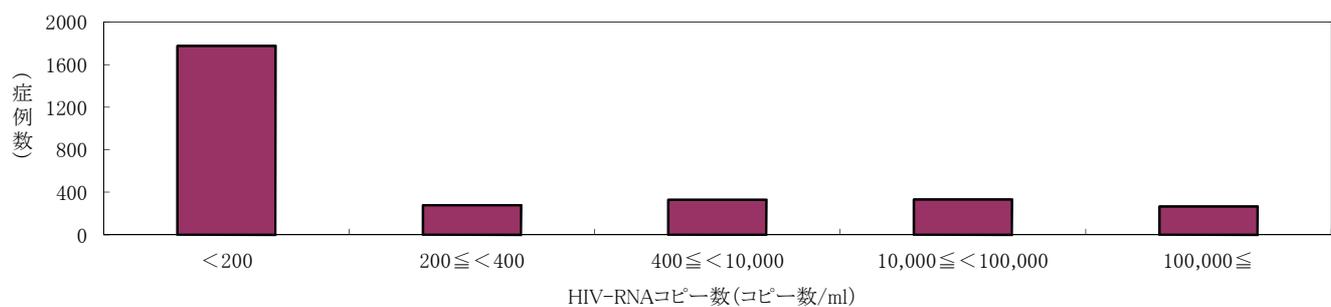
治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 1997年8月から2017年3月) (n=2983)



併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 1997年8月から2017年3月) (n=2983)



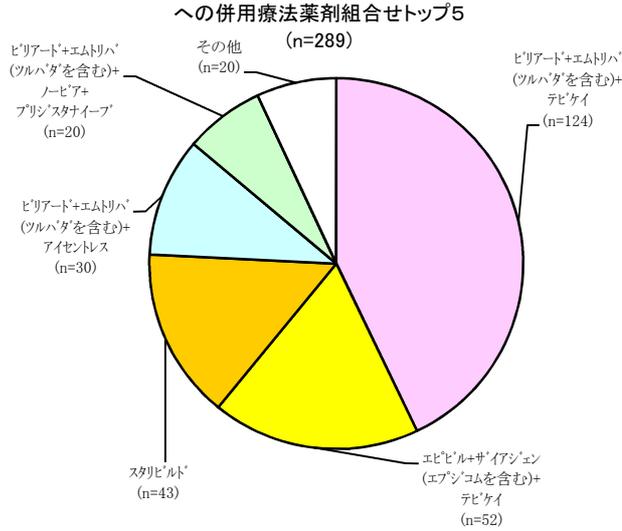
※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

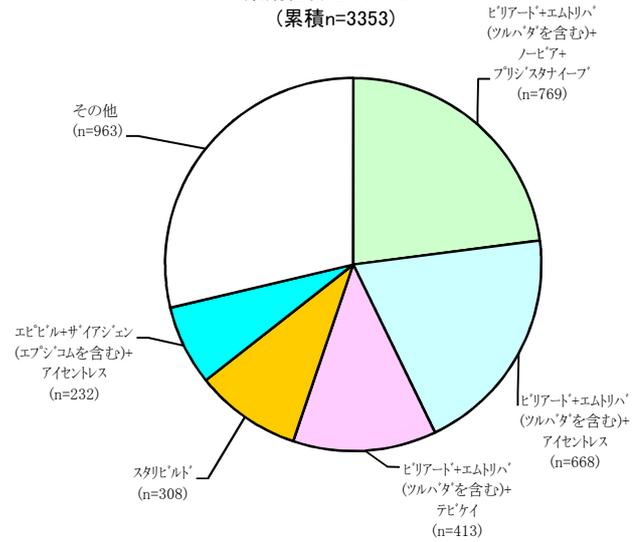
- 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
- 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

＜2014年度(2014年4月から2015年3月まで)から2016年度(2016年4月から2017年3月まで)に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ)＞

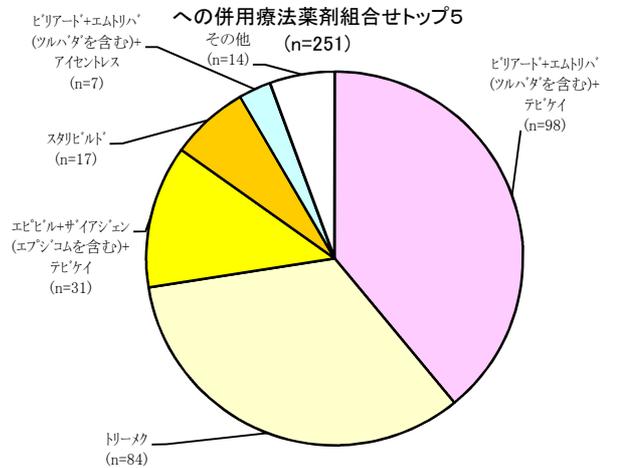
2014年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者: naive患者)



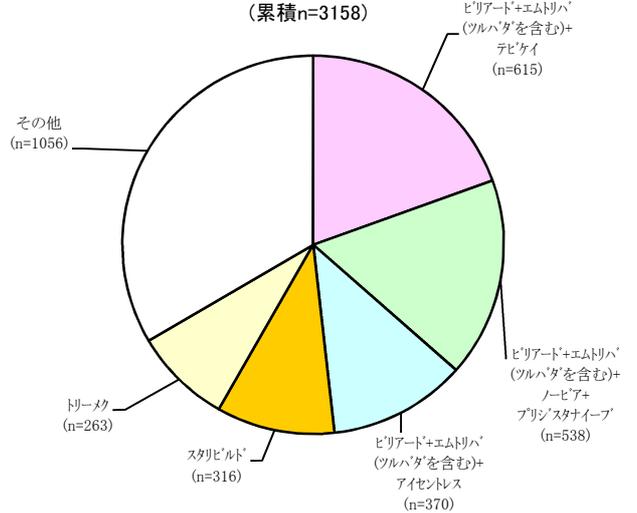
2014年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法薬剤組合せトップ5 * (累積n=3353)



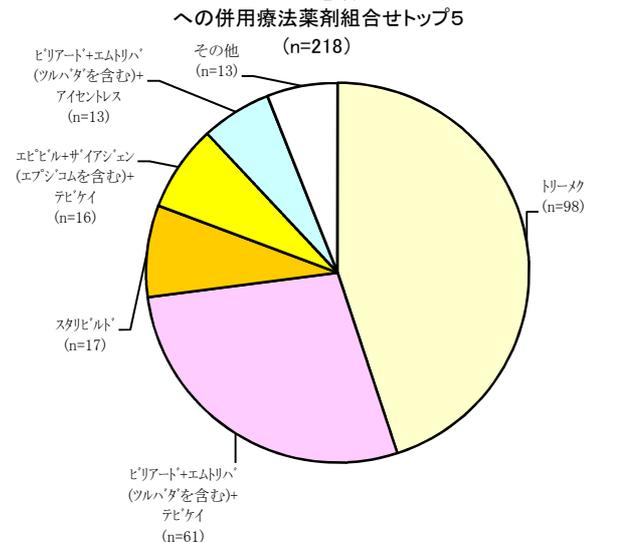
2015年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者: naive患者)



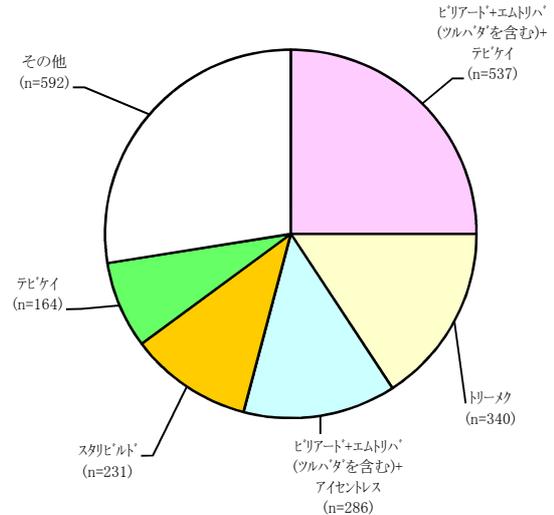
2015年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法薬剤組合せトップ5 * (累積n=3158)



2016年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者: naive患者)



2016年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法薬剤組合せトップ5 * (累積n=2150)



※必ずしも現在の治療ガイドライン等で推奨される併用療法薬剤組合せと一致しているわけではありません。治療開始にあたっては、最新のガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

○ 本調査結果は、本邦におけるエイズ診療の中核となる医療機関での2014年度から2016年度までの調査対象症例における多剤併用療法の使用実態抜粋である。
○ テビケイ単独例には、デシコビとの併用症例も含まれております。

* 併用された薬剤1剤でも変更されれば「変更」とカウントし、年度内に2度、3度変更されれば、重複カウントした。

HRD 共同調査協議会のホームページ

<http://www.hrd.gr.jp/>